

Panasonic®



取扱説明書

車載用ブルーレイディスクプレーヤー



品番

CY-BB1000D

はじめに

操作

設定

ご使用前に、「安全上のご注意」(6～9ページ)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 「仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ」は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 仮保証書/本保証書*は、説明書とともに大切に保管してください。
※ 本保証書は、ユーザー登録をしていただいたあとに発行されます。
必ずユーザー登録をしてください。



取り付け・配線

必要なときに

仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ 別添付

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 本書での長さ表記はおおよその寸法です。
- 本書でのイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- リモコンの電池交換については、50ページをご覧ください。

番号	品名	数量	番号	品名	数量
①	 ブルーレイ ディスクプレーヤー	1	⑫	 HDMIケーブル (5 m)	1
②	 ベース金具	2	⑬	 RCAコード (6 m)	1
③	 L型金具	2	⑭	 リモコン接続コード (4.5 m)	1
④	 サイドパネル (左右)	各1	⑮	 リモコン受信部 (コード3 m)	1
⑤	 座付きねじ (M5×6 mm)	2	⑯	 両面テープ (リモコン受信部用: 20 mm×33 mm)	1
⑥	 座付きタッピングねじ (φ6×20 mm)	4	⑰	 リモコン ●リモコン用リチウム 電池(CR2025)を 含む。	1
⑦	 座付き六角ナット (M5)	4	⑱	 コードクランパー (リモコン受信部用)	5
⑧	 皿ねじ (M5×6 mm)	4	⑲	 HDMIケーブル 保護カバー	1
⑨	 スパサー/ 両面テープ	各2			
⑩	 粘着テープ (35 mm×80 mm)	2			
⑪	 電源コード	1			

■ 主な添付品

取扱説明書(本書)	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1

準備

**ナビゲーション
(CN-HX3000D)と接続時**

① 取り付け・配線をする (P.36~42)

●お買い上げの販売店にご依頼ください。

② リモコンの準備をする

ナビゲーションに
付属のリモコンを
使用する

●本機に付属の
リモコンでは
操作できません。

③ 電源を入れる

エンジンをかける
(またはACCをON
にする)

①エンジンをかける
(またはACCを
ONにする)

②モニター側(カー
テレビなど)の電
源を入れる

③本機に付属の
リモコンで
電源
を押し

④ モニター側の入力を切り換える

オーディオ
メニュー画面で
Blu-ray を選ぶ

本機を接続した入力
〔外部入力〕などに
切り換える

●接続した機器の
取扱説明書をお
読みください。

準備完了

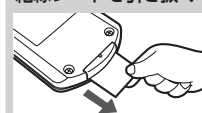
タッチ操作*1もしくは
ナビゲーションに付属
のリモコン*1で操作
してください。

*1 一部操作に制限
があります。
操作に関しては
26ページを
ご覧ください。

本機に付属の
リモコンで
操作してください。

その他のモニターと接続時

絶縁シートを引き抜く



●あらかじめ電池
が入っています。

もくじ

はじめに	
内容物の確認	2
準備	3
主な特長	4
再生できる市販ディスク	4
再生できる記録ディスク・ SDメモリーカード	5
再生できないディスク	5
安全上のご注意	6
使用上のお願	10
各部のはたらき	11
操作する	
メディアの出し入れ・切り換え	14
ディスクの出し入れ	14
SDメモリーカードの出し入れ	14
ディスクドライブ/SDドライブを切り換える	14
メディアを入れて再生する	15
映像を再生する	16
再生中のいろいろな操作	18
音楽を再生する	20
別のフォルダの曲を再生する	20
再生中のいろいろな操作	21
写真を再生する	22
別のフォルダの写真を選ぶ	22
再生中のいろいろな操作	23
スライドショーを楽しむ	24
スライドショーを設定する	24
スタート画面について	25
ナビゲーション接続時の操作対応表	26
各種設定をする	
再生方法などを設定する(再生設定)	28
本機の設定を変える(初期設定)	30
取り付け・配線する	
取り付け・配線の前に	36
取り付けかた	37
モニターの接続	40
電源コードの接続	42
必要なときに	
故障かな!?	44
用語解説	48
リモコンの電池交換	50
お手入れ	50
メディアの取り扱い	51
SDメモリーカードについて	51
データ作成時の留意点	52
言語番号一覧	54
商標について	54
仕様	55
保証とアフターサービス	56

●本書では、本機に付属しているリモコンでの操作を例に説明しています。

主な特長

● ナビゲーションとの連携

別売のHDMI映像・音声入力端子搭載のナビゲーション(CN-HX3000D)と接続すると、高画質の映像を楽しめます。また、連携して下記の操作が可能になります。

- **操作パネルで簡単タッチ操作**
ナビゲーションの画面に表示される操作パネルで、本機の操作ができます。*1
- **ナビゲーションに付属のリモコンで、本機**
の操作が可能に*1*2

*1 一部操作に制限があります。操作に関しては26ページをご覧ください。

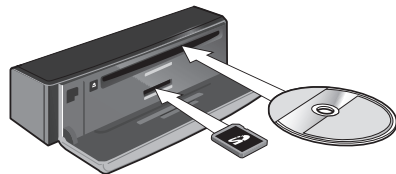
*2 本機に付属のリモコンでは操作できません。(本機に付属のリモコンで操作したい場合:P.40)



● 多彩な AV 再生機能

本機では、多彩なAV再生をお楽しみいただけます。(下記、P.5)

- 使用するメディア、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたにより、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。



再生できる市販ディスク

メディア	ロゴ	特徴	本書での表記
BDビデオ		映画や音楽などハイビジョン画質・最大7.1ch音声に対応する市販ソフト ● ディスクに記録された本編以外の副映像などが楽しめる BONUS VIEW™ (BD-ROM Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile)対応のディスク BONUS VIEW™ ● BD-Liveには対応していません。	BD-V
DVDビデオ		映画や音楽などの市販ソフト	DVD-V
CD		音楽や音声記録された市販ソフト ● CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。	CD

■ リージョンコード・番号について

- **BDビデオのリージョンコード**
本機のリージョンコードは「A」です。「A」(「A」を含むもの)が表示されているディスクが再生できます。



- **DVDビデオのリージョン番号**
本機のリージョン番号は「2」です。「2」(「2」を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



再生できる記録ディスク・SDメモリーカード

メディア	フォーマットなどによる表示マーク 本書での表記									
	BD		DVD			動画		音楽		写真*2
	Blu-ray Disc Recordable Format	Blu-ray Disc Rewritable Format	ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	VR方式 [VR (DVDビデオレコーディング規格)]	AVCREC方式	AVCHD	MPEG2 (SD-Video規格)*3	CD-DA*4	MP3	JPEG
	BD-V *5	BD-V *5	DVD-V	DVD-VR	AVCREC	AVCHD	MPEG2	CD	MP3	JPEG
BD-R*7	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-RE	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○
DVD-R*8	—	—	○	○ (Version 1.1)	○	○	—	—	○	○
DVD-RW*8	—	—	○	○ (Version 1.1)	—	○	—	—	—	—
DVD-R DL*8	—	—	○	○ (Version 1.2)	○	○	—	—	○	○
CD-R*8	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
CD-RW*8	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
SDメモリーカード	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○

*2 BMPデータには対応していません。

*3 ワンセグ録画したデータには対応していません。

*4 CD-TEXTのタイトル表示には対応していません。

*5 ビデオカメラでハイビジョン動画(AVCHD)を記録した場合や、当社製ブルーレイディスクレコーダー(DMR-BW200)でビデオカメラの動画(AVCHD)をダビングした場合。

*6 2007年以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで、番組やビデオカメラの動画(AVCHD)などを記録した場合。(2009年8月現在)

*7 片面2層(50GB)のディスク(DL)やLTH type(P.49)も再生できます。

*8 記録した機器でファイナライズを行う必要があります。詳しくは、お使いの機器の説明書をご覧ください。

再生できないディスク

- 8cmディスク(シングルアダプターも使用不可)
- カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)
- リージョンコード「A」を含まないBDビデオ
- リージョン番号「2」「ALL」を含まないDVDビデオ
- 3.95GB/4.7GB DVD-R for Authoring
- DVD-ROM、DVD-RAM
- DVD-RW Ver.1.0/DVD-RW(片面2層)
- DVDオーディオ
- DivX Videoディスク
- CD-ROM、CDV、CD-G、SACD、CD EXTRA*9、Photo CD、CVD、MV-Disc、PD、クローズセッションされていないCD
- ビデオCD、SVCD、VSD
- WMAディスク
- PAL、SECAM方式などで記録されたディスク
- HD DVD
- DualDisc*10
- ファイナライズされていないディスク

*9 再生すると、ディスクの内容が壊れるおそれがあります。

*10 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。


安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき


警告

 **本機は、DC12V \ominus アース車専用です**
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因になります。


説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因になります。

作業前に車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因になります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。


 **コード類は、運転を妨げないように引き回す**
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因になります。
^{*} ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど


 **分解や改造をしない**
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因になります。

取り付けや配線をするとき

警告


 **視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因になります。
^{*} ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

 **取り付けやアース配線に、車の保安部品^{*}を使わない**
制御不能や発火、交通事故の原因になります。
^{*} ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット


ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
専門技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

本機は、しっかり取り付ける
取り付け場所の汚れはふき取り、確実に固定してください。ときどき取り付け状態(ねじのゆるみなど)を点検してください。交通事故やけがの原因になります。

 **高温になる場所^{*}などに取り付けない**
火災や故障の原因になります。
^{*} 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところ


コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。


- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回す。
- ドライバーなどの先で押し込まない。

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない
走行中に外れ、交通事故やけがの原因になります。

取り付けや配線をするとき


⚠ 注意

 **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない**
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因になります。

 **本機の通風孔をふさがない**
内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。


ご使用になるとき


⚠ 警告

 **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。

デジタル出力は正しく設定する
正しく設定しないと大きな雑音が発生し、聴力障害やスピーカーなどの破損の原因になります。

拡張子(MP3)は、正しく付ける
MP3ファイル以外のファイルに拡張子「MP3」を付けない。MP3ファイルと誤認識して再生し、大きな雑音が出ることで、聴力障害やスピーカーなどの破損の原因になります。

 **電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因になります。


 **リモコンを放置しない**
転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げ、交通事故の原因になります。
運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因になります。


故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

機器内部に、水や異物を入れない
飲み物などがかからないようにご注意ください。金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。


ご使用になるとき

⚠ 注意


 **リモコンの保管は、直射日光や高温・多湿の場所を避ける**
ケースの変形、内部電池の破裂や液もれによる火災や故障の原因になります。
ディスクなどの出し入れの際、シートの移動は同乗者に注意する
けがの原因になります。

 **本機を車載用以外には、使用しない**
発煙や発火、感電、けがの原因になります。
可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
けがの原因になります。
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因になります。

電池は正しく使う



- 指定以外の電池は、使用しない。
- 充電、分解、加熱したり、火や水の中に入れてない。
- 金属物と接触させない。
- 著しく温度が高くなる場所(直射日光が当たる、ヒーターの近く、窓を閉めきった車内、車のトランクの中など)に、電池や電池の入ったリモコンを放置しない。



- ⊕と⊖は、正しく入れる。
- 使い切った電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 電池の保管時は、⊕・⊖端子をテープなどで絶縁する。

電池の破裂や液もれによる、火災や発煙、発火、けが、周囲汚染の原因になります。

■ 電池を廃棄する場合は
各自治体の指示(地域の条例)に従ってください。

■ 電池の液もれが発生した場合は

- 身体や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流す。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い流し、すぐに医師にご相談ください。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
●お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

本機の内部温度が高い場合は

- 本機は熱に弱いので、内部温度が高くなると保護機能が働き、自動的に停止する場合があります。車内温度が適温になるまで待ってからご使用ください。

HDMIの音声出力について

- 本機は7.1 chの音声出力に対応していますが、その音源を再生できる当社製の車載用接続機器はありません。(2009年8月現在)
そのため当社製の車載用接続機器と接続した場合、7.1 chの音源はダウンミックスして出力されます。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤作動やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- **次の場合、補償はできません。**
 - ・ お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラム等が変化・消失した場合
 - ・ お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

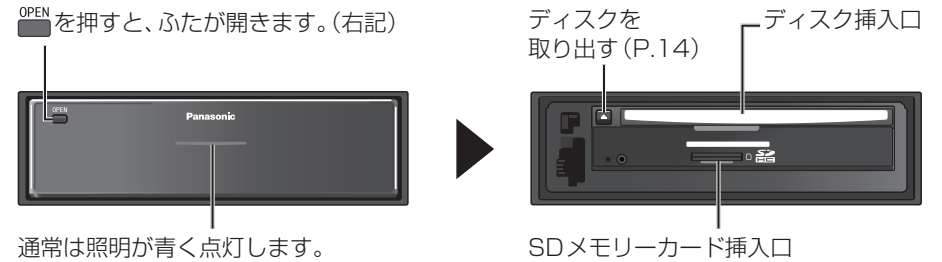
著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、当社はこれを十分尊重いたします。
- 商標については、54ページをご覧ください。

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされていません。
 - ・ AVC規格及びVC-1規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1ビデオ)を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1ビデオを再生する場合
 - ・ ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1ビデオを再生する場合
 詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

各部のはたらき

本体



- 通常は照明が青く点灯します。
- 赤く点滅しているとき (P.44)

リモコン



※1 スタート画面などが表示されているときは、前の画面には戻らず、停止画面 (P.19) が表示されます。

お知らせ

- 同じリモコン方式の機器が近くにあると、誤作動する場合があります。

お願い

- **ナビゲーション (GN-HX3000D) 以外のモニターと接続時**
 - 本機に付属のリモコンを、リモコン受信部に向けて操作してください。(右記)
- **ナビゲーション (GN-HX3000D) と接続時**
 - ナビゲーションに付属のリモコンを、ナビゲーションのリモコン受信部に向けて操作してください。(本機に付属のリモコンでは操作できません。)

